

令和6年度 授業づくりシート

教科名 自立活動 | 1 学年

単元名	「ボウリングゲームをしよう！」～友達との関わり合いを通してルールを学ぶ～	
単元の目標	順番や簡単なルールがわかり活動することができる。	
児童の実態	A児	個人情報のため省略
児童の個別目標	A児	・自分の順番がわかる。(心理的な安定、環境の把握) ・簡単なルールを守って活動することができる。 (人間関係の形成、コミュニケーション)

○活動内容と具体的手立て

活動内容	児童の予想される言動	具体的手立て
・始めのあいさつ (A児)	・着席はできるが挨拶を一緒にすることが難しい。	・挨拶の際に、児童の名前を呼びかけることで、集中できるように促す。
・順番決め	・自分がやりたい番のときに手を上げて伝えることが難しい。	・全体にどの順番でやりたいか尋ねた後に、目の前で手を上げる手本を見せ、自分に問いかけられていることがわかるようにする。
・ボウリングゲーム	・自分の番でないときに立ち歩くことがある。	・ホワイトボードに順番通りに貼られた写真カードを確認する。今誰の番かわかるように、ボウリングのイラストを動かして示す。座るように促す言葉かけをする。

○展開

時配	活動内容と教師の支援	該当児童
1分	○始めの挨拶 ・教師と一緒に挨拶ができるように、児童の名前を呼ぶことで、注意をこちらに向けてから挨拶をするようにする。 ・グループ名を目の前で口形を見せながら伝えることで「ドキドキグループ。」と一緒に言うことができるようにする。	
4分	○活動の確認と順番決め ・やり方の説明では、集中して聞くことができるように、T2がT1を見る言葉かけをして促す。 ・ボウリングのピンには触れないことを確認する。 ・順番決めでは、全体にどの順番でやりたいか尋ねた後に、目の前まで行き、手を上げる手本を見せることで、自分に問いかけられていることがわかるようにする。	
14分	○ボウリングゲーム ・ピンに触れないことを示すイラストを提示し、触れそうになったら一緒に約束を確認する。 ・ホワイトボードに順番通りに貼られた写真カードを確認する。 ・誰が今の番かわかるように、ボウリングのイラストを動かして示す。座るように促す言葉かけをする。 ・約束や順番を守れたか確認し、できたことを称賛する。	
1分	○終わりの挨拶	

○児童の授業に取り組む様子

A児	・順番を決める際に、問いかけられていることがわかるように目の前で手を挙げると、やりたい順番のときに手を挙げて伝えることができた。 ・自分の順番のときに、写真カードを指さして「○○番目の人」と尋ねても前に出てくるのが難しかった。児童の目の前で写真カードを見せるほうが有効だった。 ・初めは、ボウリングのピンを手で倒しに行くことがあったが、ルールがわかるとボールを転がしてピンを倒すことができるようになった。
----	--

グループ全体の反省・課題 等	・ルール説明や順番決めの際に、ホワイトボードに貼られた掲示物を注視できるようにする手立てにもう少し工夫が必要だった。 ・順番を守ることが目標にあったが、守ることを意識すると席に座って待つ時間が多くなってしまった。動いて活動する時間を増やす必要がある。 ・ボウリングで倒したピンの数を得点として数字で表していたが、数の理解をしている児童が少なく勝敗がわかっていない様子だった。箱積みゲーム等で、積み上げていった箱が倒れたら負けというように、一目で勝敗がわかるようにすることで、更に楽しめる活動にできるだろう。
----------------	---